＊ 2018 年 9 月改訂(第 2 版)
2017 年 4 月作成(第 1 版)

届出番号:13B2X00022000006 号

機械器具(7O) 歯科用鋳造器
一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (JMDN 35762000)

オストロマット 354 プレシデント

【形状・構造及び原理等】

1. 構成
本機器は以下のユニットにより構成されます。
・焼成炉(電源ケーブル含む)
・付属品

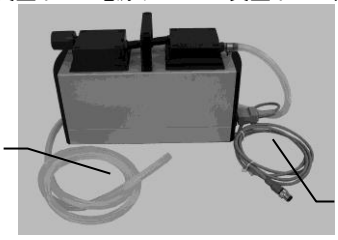
2. 外観と各部の名称
[正面図]

1	焼成チャンバーカバー	6	リフトシート
2	焼成炉の上部	7	ボトムカバープレート
3	後部支柱	8	焼成炉の下部
4	前部支柱	9	タッチスクリーン
5	焼成台		

[背面図]

1	銘板	5	電源ケーブルコネクター
2	電源スイッチ	6	真空ホース接続部
3	ヒューズボックス	7	LAN コネクター
4	真空ポンプ 電源ケーブルコネクター	8	USB コネクター

[付属品]
・真空ポンプ(真空ポンプ電源ケーブル 真空ホース含む)



・焼成台
・ピンセット
・温度校正セット
・取扱説明書

3. 本体寸法、重量
・寸法:710 ㎜(高さ)×385 ㎜(幅)×285 ㎜(奥行)
・重量:24.5 kg(本体)/30.0 kg(真空ポンプ含む。)

4. 電気的定格

・電源	95-105 V
・周波数	50-60 Hz
・消費電力	1450 W (最大)

5. 機器の原理
焼成台に置かれたポーセレンは、予めコンピュータにインプットされた条件(温度、リフト位置、プレス圧力、バキューム値、時間)に基づいて電気的動力でリフトが上部方向へ持ち上げられ、焼成炉内で焼かれるとともに同時にプレスされる。

【使用目的又は効果】
本品は、ポーセレンを焼成するために歯科技工で使用される炉である。

【使用方法等】

1. 準備
1.1. 真空ポンプを本体に接続する。
1.2. 本体用の電源ケーブルを本体背面の電源ケーブルコネクターに接続し、コンセントに接続する。
1.3. ネットワークまたは個々のコンピュータを使用する場合は、LAN ケーブルを本体背面の LAN コネクターに接続する。
1.4. USB 機器を使用する場合は、USB コネクターに接続する。

2. スイッチの ON/OFF
2.1. 本体背面の電源スイッチを ON にする。
2.1.1. 焼成炉のコントロールがおよそ1分でスタートする。
2.1.2. 焼成炉が内部ソフトウェアーとハードウェアーのチェックを完了するとリフトが自動的に下降する。(焼成台がリフトシート上に設置されていることを確認すること。)
2.2. 本体背面の電源スイッチを OFF にする。(電源スイッチの OFF は焼成チャンバーが閉じていることを確かめてから行うこと。)

3. 焼成物の設置と取り出し
3.1. 焼成トレー上に焼成物を置き、焼成トレーを焼成台の中心に設置する。
3.2. 焼成物の取り出しは、適切なツール(ピンセット)、または、安全グローブを使用すること。

4.プログラムの選定とスタート
4.1. プログラムの選定
A タッチスクリーンの場合
A-1 焼成炉のスイッチを ON にすると、コントロールが起動し、タッチスクリーン表示が表示される。
A-2 タッチスクリーンとファンクションキーを操作し、プログラムの選定を行う。温度コントロールは、タッチスクリーンとウェブインターフェースで同一である。(項目 4.2.～参照)
B ウェブインターフェースの場合
B-1 コンピュータのブラウザーを立ち上げる。
B-2 ログインデータを入力するとプログラムマネージャーがスタートする。
B-3 プログラムの選定を行う。

4.2. 必要なプログラムを選定すると、焼成炉は予備加熱温度にまで上昇する。
4.3. 選定されたプログラムをクリックすると、そのプログラムの焼成状況がディスプレーに表示される。
4.4. プログラムディスプレーの〔Program start〕をクリックすると、プログラムが自動的に進行する。
4.5. プログラム進行中はリフトが自動的に上下する。
4.6. プログラム進行中に〔Cancel program〕をクリックすると、プログラムを中止することができる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

5. プログラムの終了

5.1. 通常のプログラムの終了後の焼成炉の作動は使用したプログラムのタイプによって異なる。

A. イージー、プロフェッショナル、プレスプログラムの場合
（特定の固定プログラム構造を持つ）

A-1 通常のプログラムを終了するとビープ音がする。
A-2 リフトが下降する。
A-3 焼成回数記録が自動的に加算される。
A-4 焼成のログファイルが記録されプリントされる（プリンターが接続されている場合）。

B. クラッシックプログラムの場合
（自由にプログラムすることができ、焼成炉はプログラムにあるコマンドのみを実行する。）

B-1 通常のプログラムを終了するとビープ音がする。
B-2 焼成回数記録が自動的に加算される。
B-3 焼成のログファイルが記録されプリントされる（プリンターが接続されている場合）。

5.2. プログラムが終了すると焼成物を取り出すことができる。（項目 3.2. 参照）

〔使用方法に関連する注意事項〕

1） 電源は安定した単独回線に接続し、電圧が本器に指定されている電圧と一致していること。
2） アースは正しく接続すること。
3） 常に良好な真空状態を維持できるよう、リフトシートのシーリング部は清潔に保つこと。
4） 常に最適な温度状態を維持できるよう、定期的に温度校正を行うこと。
5） シーリング部の焼損を防ぐため、焼成台をセットせずに加熱しないこと。
6） 熱電対の損傷を防ぐため、焼成炉内に入れる焼成物の高さは65 ㎜を超えないこと。（焼成用トレーの高さを含む）
7） 焼成物及び焼成トレーは焼成台の中央に置き、焼成台からはみ出さない位置に置くこと。
8） タッチスクリーンのボタンを操作する際は、鋭利なもので操作するとタッチスクリーンを破損する恐れがあるため、必ず指で操作すること。
9） ヒーターの消耗と電力の消耗を防ぐため、焼成後は次のプログラムを開始するまでの間、リフトを最上位へ移動させること。
10） 本器の電源を切る際は、マッフル内への湿気を避けるため、必ずリフトを最上位へ移動し、マッフルを閉じた状態にすること。

【使用上の注意】

1）使用注意
①【使用目的又は効果】の項に記載された用途以外には使用しないこと。
②本機器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しく使用すること。
③本機器は水のかからない場所に設置すること。
④本機器を設置する場所は、十分な強度をもった水平なテーブル上に置き、最も近い壁から 30 ㎝以上離して設置すること。また周囲に可燃性のものを置かないこと。
⑤本機器の設置場所には消火設備を設置すること。
⑥本機器の加熱中及び加熱後は焼成台及びその周囲が高温となるため、火傷に注意すること。
⑦コード類の抜き差しには必ずプラブ部を持ち、コードに無理な力を加えないこと。
⑧本機器内部に触れると感電の恐れがあるため、絶対に本体を開けないこと。
⑨本機器に異常が発見された場合は、速やかに機器の使用を中止し、適切な措置をとること。
⑩機器は改造しないこと。
⑪歯科医療有資格以外は使用しないこと。

2）重要な基本的事項
①故障した際は適切な表示を行い、修理完了までは使用しないこと。
②本機器の修理は修理担当者以外行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

〔貯蔵・保管方法〕
①水のかからない場所に保管すること。
②傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などに対する安定状態に注意すること。
③気圧、温度、湿度、風通し、直射日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などによる悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
④化学薬品の保管場所や、ガスの発生する場所に設置しないこと。
⑤歯科の従事者以外が触れないように適切に設置・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

①本機器及び付属品は必ず定期点検を行うこと。
②しばらく使用しなかった機器を再使用する場合は、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認してから使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】＊
ペントロンジャパン株式会社
〒140-0014 東京都品川区大井 4-13-17
TEL. 03-5746-0316 FAX. 03-5746-0320

【製造元】
デケマ デンタル ケラミコフェン社 （ドイツ）
(DEKEMA Dental-Keramiköfen GmbH)

取扱説明書を必ずご参照ください。